八戸工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	総合英語C(5107)

科目基礎情報

科目番号	0030	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	産業システム工学専攻環境都市・建築デザインコース	対象学年	専2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	Cambridge Academic English		
担当教員	菊池 秋夫		

到達目標

高専本科で身に付けた基礎的な読解力とコミュニケーション能力および前期開講の総合英語A、Bで練習した応答力をもとに、パラグラフレベルでのインプットと同時にアウトプットトレーニングを目的とする。特に各学生の専攻内容に関しての論文読解等についての実践的なトレーニングを行う。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	アカデミックパラグラフライティング500語程度のアブストラクトを作成できる	アカデミックパラグラフライティング300語程度のアブストラクトを作成できる	アカデミックパラグラフライティング100語程度のアブストラクトを作成できる
評価項目2	10分程度のアカデミックプレゼンテーションをスクリプトをほとんど見ないで実施できる	10分程度のアカデミックプレゼンテーションをスクリプトを10回程度見ながら実施できる	10分程度のアカデミックプレゼンテーションをスクリプトなしで実施できない
評価項目3	首尾一貫したプレゼンテーションが原稿を見ずにできる	首尾一貫したプレゼンテーションができる	首尾一貫したプレゼンテーションができない

学科の到達目標項目との関係

ディプロマポリシー DP5 ◎
地域志向 ○

教育方法等

概要	高専本科で身に付けた基礎的な読解力とコミュニケーション能力および前期開講の総合英語A、Bで練習した応答力をもとに、パラグラフレベルでのインプットと同時にアウトプットトレーニングを目的とする。特に各学生の専攻内容に関しての論文読解等についての実践的なトレーニングを行う。
授業の進め方・方法	This class focus on improving learners' communication skills (especially reading). Through practical writing, students are expected to develop communication skills on each academic topic for giving final presentation.
注意点	学生の積極的な参加を前提とする。なお、英和・和英辞書は毎時間必ず持参しなければならない。またALCで積極的な耳慣らし、シャドーイングなどを課題として課す

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Introduction	General survey
		2週	Reading Practice / Presentation	Topic sentence
		3週	Reading Practice / Presentation	Reading analysis
		4週	Reading Practice / Presentation	Reading marker
		5週	Reading Practice / Presentation	academic technical term
		6週	Reading Practice / Presentation	academic technical term
		7週	Reading Practice / Presentation	academic technical term
		8週	Reading Practice / Presentation	academic technical term
	4thQ	9週	Writing Practice / Presentation	expression for topic sentence
		10週	Writing Practice / Presentation	expression for paragraph
		11週	Writing Practice / Presentation	expression for paragraph
		12週	Writing Practice / Presentation	expression fordiscussion
		13週	Writing Practice / Presentation	expression for discussion
		14週	Writing Practice / Presentation	expression for comparison
		15週	Writing Practice / Presentation	expression for comparison
		16週	Writing Practice / Presentation	expression for conclusion

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	4	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	4	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	4	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	4	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	4	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	4	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	4	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	4	
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	4	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	20	10	70	0	100
基礎的能力	0	0	20	10	70	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0